



樹姉ばより

No.155
2017.09

慈悲喜捨

私たちが話をするときは、「自分」と「自分以外」に関する内容があります。そして、相手に情報を伝えるだけでなく、自分自身を振り返るという作用があります。

たとえば、問題を抱えている時に、信頼する人に話すると心が落ち着きます。それは、自分の中にあるものを外へ出す、「話す」放す「作用があるからだと言われている。しかし、それがうまく作用するためには、自分の話をきちんと聴いてもらう必要があります。なぜならば、心にある問題を放そうとしても、誰かに受けとめてもらえないれば、自己解決の道はたどれないからです。

また、自分のことを話す時は、「自分のことを分かっている欲しい」という気持ちのどこかにあります。そのため、「聴く」立場の人にとっては重要な役割を担っています。しかし、どうしても自分の価値観を基にして聞いてしまう傾向があるので、話の内容は聞けても、その背景に流れる相手の感情を捉えながら聴くということができなくなります。傾聴することはとても難しいことです。しかし、聞き上手な人は、相手の話に

集中して、うなづいたり、あいづちを打ったり、相手があんまり話せるような表情や態度を示します。そして、相手の気持ちや考えを善し悪しに関係なく、そのままを受けとめます。受容することによって、次第に信頼を得られるようになります。やがて、話をする側は、自らの言葉を心の鏡に映すようにして、自分自身を振り返っていきます。

しかし、場面によっては、傾聴や受容だけでは解決しないこともあります。たとえば、医師が、苦しんでいる人の話を黙って聴いているだけでは症状は悪化してしまします。適切な判断をするためには、患者との対話によって状態を理解しなければなりません。対話は、本音と本音の話し合いであり、それは、受容と同様に会話によって生じる信頼関係を基にしています。対話によって、相互理解が深まり、心の安定が導かれます。新学期が始まりました。実りある時とするために、子どもたちの話に耳を傾け、聴き上手になりましょう。そして、更に信頼関係を深め、対話によって必要なことを尋ね、ね、心音が理解できるようにしましょう。

教頭 金安伸一

短歌・俳句の心

明照学園理事長
野口 秀樹



第二学期、また新たなスタートの時期です。思いを込めて歩み出しましょう。

高校野球と言えば甲子園大会、今年も高校球児達は頑張りました。その影で沢山の文化部門の全国大会もおこなわれていました。そしてそれらには〇〇甲子園と大会名がつけられている。日本高校野球の甲子園大会の存在感の凄さを改めて感じています。

歌人石川啄木のふる里、盛岡市では全国の高校生が短歌の腕前を競う「短歌甲子園」がおこなわれました。福岡女学院高校一年生が個人の部で最優秀賞、

「長雨に 濡れた葵の花
のような ふるえる君の
声に触れたい」

(いつもは太陽に向かって咲く花のように明るく勝ち気な親友が、電話で涙ぐんだ様に驚き、励まそうとした心情を読んだもの)

和歌の文化、日本人の文化、すごいと思いますか。この言葉の中に彼女のこんなおもしろい詰められているのです。この感性には驚きます。

最近テレビで、こちらは俳句ですが、夏井いつきさんという方が登場し、俳句の面白さを人々に教えてくれています。確かに五七五のリズムは聞いていて心地よい。こんな私でも是非作ってみたいという思いが起ってきます。

夏井いつき先生が添削すると全く味わいが変わってしまうのですから不思議です。

樹徳でもだいぶ前から中学は樹徳歌壇、高校は校内短歌会をおこなっています。自分の感じたことを言葉にする、しかも

最も短い言葉の中で表現する。楽しみながら頭と心を磨く作業。ありがたいですね、先人達が育んできた和歌の繊細な感性が私達のDNAに受け継がれているので、思いの外チャレンジしやすいのです。

私の備忘録の中にも、これまでに会った、素敵な言葉達を書かれておられます。ご存知のものばかりですがいくつか書いてみます。

「かくすれば かくなる
ものと 知りながら や
むにやまれぬ 大和魂」

吉田松陰

明治維新の精神的指導者・理論者・倒幕論者として知られる。私塾「松下村塾」で、後の明治維新で重要な働きをする多くの若者に思想的影響を与えた吉田松陰、私もこの方の影響を随分受けました。

「憂きことの なおこの
上に 積もれしか かぎ
りある身の 力ためさ
ん」

山中鹿介

山中鹿介は戦国時代から安土桃山時代にかけての山陰地方の武将、尼子氏の家臣でした。優れた武勇の持ち主で「山陰の麒麟児」と言われていました。この歌は体に力が湧いてくるのです。

「世の中の 人は何とも
言えと言え 我が為す
ことは 我のみぞ知る」

坂本龍馬

坂本龍馬は江戸時代末期の志士、土佐藩郷土。脱藩した後は志士として活動し、貿易会社と政治組織を兼ねた亀山社中を結成した。これは日本最初の株式会社。江戸幕府の終焉に大きな影響を与える。あまりにも有名でファンが沢山います。私も司馬遼太郎「龍馬が行く」などを一所懸命読んでいたことがあります。

「春風や どうしいだき
て 丘に立つ」

高浜虚子

高浜虚子は明治・大正・昭和の三代にわたる俳人・小説家 正岡子規の弟子 俳句雑誌「ホト

トギス」を主催。これは新年度を迎えたときにいつも口から出て来ます。その昔、公立高校の校長先生から教えて戴いたのです。

「窓あけて 窓いっぱい
の春」

山頭火

大正・昭和の俳人。季語や五・七・五という俳句の約束事を無視し、自身のリズム感を重んじる「自由律俳句」を詠んだ。放浪の俳人で出家していません。伝記や全集を読みました、変わり者です。これも春になるとこの歌もつい口から出てしまいます。

五七五、五七五七七などの言葉のリズム、発せられる広がり、聞き手への伝達力、言葉はやはり力があります。大切にしたいかもしれません。

合掌



良き習慣は才能を超える

二学期の始まりに

朝夕は随分としのぎやくなりりましたが、まだまだ残暑厳しい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。新学期も始まりほっと一息、お子様たちも元気に登校されていることと存じます。

少々改まった出だしで文章を始めました。これは、「秋の時候の挨拶」を切り貼りしたものです。季節感を大切に考える日本人は、挨拶には必ず「季節柄」を入れることを習慣としています。文を書く側はもちろん、受け取る側も、そのことを当然のこととして受け入れています。

九月は、季語を見ると、「初秋の候」「新涼の候」「清涼の候」「秋冷の候」など、「秋」の入り口とされています。昼間は暑さが残る日もあるものの、寝苦しい夜は去り、朝は爽やかです。「秋冷」ともあるように、月の終盤になれば、うっかりすると寝冷えを気を付けなければなりません。「暑

さ寒さも彼岸まで」の言葉も、なるほどと思うように、九月は、そのひと月の間に、大きく気候が変化します。過ごしやすさに浸っていたいとの思いも空しく、あつという間に冬への準備期間になってしまします。

だからでしょうか、古来、秋を話題にした作品は、ものの悲しさを感じさせるのが常です。たちまちに過ぎてゆく秋を惜しみ、厳しい冬の到来を予見し、覚悟を決める意味合いがあるのでしよう。

心地よくも短い秋を、せめて月見や、虫の声などの風流なもの、または実りの多いおいしいもので楽しみたいものです。

(編集子)

生活を整える

二学期が始まりました。生徒たちの様子はどうかというところ、まだ夏休み中の人びりした生活から抜け出せていない者、夜更かし習慣からの切り替えができていない者など、様々です。さて、夜更かしの「フク

ロウ型生活」について。原因は、主にテレビやゲーム、携帯電話のようで、結果、睡眠が二、三時間になってしまふケースも珍しくないので。そして、これにはまってしまうと、大変な苦勞をするばかりになってしまします。

朝、当然、起きられません。大慌てで、顔も洗わず、歯も磨かずに家を出ます。食事時間も、トイレに入る時間もありません。寝起きのわずかな時間にしたことといえ、親に八つ当たりしてプリプリと怒りまくったことだけです。制服の下はパジャマのまま。朝食はそのまま食べないか、あるいはコンビニのパンかおにぎりを学校に着いてから食べていて、HRで担任に注意される体たらくです。

このような生活をしていれば、駆け込みで学校には間に合ったとしても、体には疲れが残ったままです。授業中も集中できるはずがありません。もとよりこの手のタイプの生徒の大半は、学習に対する意欲が充分ではないのですから、成績も上がるわけではないのです。学習への興味がなくなれば

ばなくなるほど、学校生活がストレスを増幅する場となってしまう。そして、このストレスが、怠学や、良くない遊びへと気持ちを持ってしまふのです。

随分と極端な例だと思うでしょうが、このような例が過去に無かったわけではないのです。そもそも人間は、フクロウのように夜行性の動物ではありません。日が落ち、暗くなれば、自然に身体が睡眠を求めているのです。しかし現代では、明るくしようと思えばいくらでもでき、また、睡眠の妨げになる画像アイテムも、いくらでもあります。テレビやスマホを見て眠気が失せたように感じても、それは睡眠を求めている身体に強い刺激を与え続けることで無理やり起こしているだけであり、この状態でのエネルギー消費量は昼間の比ではありません。そして、身体機能や精神のバランスに悪影響を及ぼすことは、もはや言うまでも無いでしょう。

すぐ怒るキレやすさ、集中力が持続しない根気の無さは、

寝不足の症状の典型と言えるでしょう。実際、今時の若者の傾向といわれるものは、このあたりに原因があるところも大きいのではないのでしょうか。イライラした空気が周囲にも伝播してしまします。家庭・社会がギスギスした、嫌な雰囲気になってしまつては、誰にとってもメリットは無いのです。

一日の始まりは、「活気に満ちた、清々しい朝」にしたいもの。日頃のちよとした我慢や工夫で、自分の気分だけでなく周囲への配慮にもなるのだということをお忘れなく。

(カウンセラー室)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」9月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生藤工芸」
主催 野村ナナ子さん 14日(木), 28日(木)
- (2) 販売実習 17日(日), 18日(祝)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
 - ③東北復興支援商品(海産物等)

夏季海外科学研修 参加体験記

先月号では写真のみのダイジェスト版でお届けしましたが、今月号は海外科学研修に参加した生徒の体験記を紹介いたします。

『海外科学研修を終えて』

二年SS組 浅野 亜月



きつい十日間でした。体力的にも精神的にも応えませんでした。しかし、それでも私は人生初めての海外渡航が修学旅行の、このプログラムで良かったと思っています。

もともと海外には興味があり、留学もいつか機会があればと思っていました。そのため、事前オリエンテーションで先生方から厳しいものだと指導を受けながらも、心意気は十分、ドンと来いという気持ちでいました。

私はそんな意気込みでアメリカに入国しましたが、現地では感慨に浸る間もな

く慌ただしいスケジュールが待ち構えていました。

一番衝撃を受けたのは初日のアクティビティです。これはファシリテーターの先生の仲介で各国の留学生とゲームや対話で交流を図るものですが、ここでは私の中にある日本人気質が大きな妨げになり、その場の空気に馴染めませんでした。そもそも外国人との対話がそう簡単ではない事は百も承知で、覚悟もしていました。私も英語が使えないわけでもなく、何より留学生が使っている英語は文法や会話内容が日本人の私でも聞き取れるくらい易しいものでした。ではなぜあの空気に馴染めなかったのか、それは文化の違いもありますが、私に不足しているものは、圧倒的なスピーキング力の弱さです。外国人が日本人に持っているイメージは、一般に真

面目で堅実、そして控え目と言われます。そうした日本人のイメージは私がアメリカという外国に身を置くことで、なるほど確かに、と実感させられることになりました。結果として、私たち日本人のチームだけぽっかりと穴が空き、その場の空気に馴染めない隔たりを覚えたのです。私はこの時、最大限頭を働かせて、自ら会話の流れに入っていくようにしましたが、私の頭に浮かんだ英文は模試の答案用紙を埋めるような凝り固まった表現ばかり。まさにその「英文」を話すべきか迷っているうちに会話の流れはどんどん変わっていき、話すタイミングを失ってしまいます。

しかし、そんな私たち日本人とはまるで異なり、留学生たちは人と話すことが好きなのだろうと思いましたが、私は彼らの感情表現豊かでハキハキと話す姿に憧れ、留学生が食事をしているところに図々しくも同席してもいいか、と押しかけたこともありましたが、その際、私のたどたどしい英語でも、皆優しく接してくれました。こうした機会を通じて私は「国の性格」の違いを実感しました。

もちろん、日々の学習が実を結んだという場面も時折ありました。初歩的なながらも、自分の言葉が相手に伝わった事が単純に嬉しく、未だ鮮明に覚えています。

私はこうしたアクティビティを重ねる中で、海外に友人ができました。さよならパーティでの水墨画パフォーマンスの後、「良かったよ！」と声を掛けてくれたり、一緒に写真を撮ろうと誘われたり、そんな些細な事が嬉しくて仕方がありませんでした。きっと一生の財産です。

肌を刺すような強い日差しに、湿度が低く乾いた空気。人も食べ物も建物までも、ひとまわり大きいサイズ感。眩しいく

らしいの配色や博物館の高い天井。今なら受け売りでなく、本心で言うことが出来ます。「世界って本当に広いです」と。

受験英語という言葉がある程です。確かに実用性はありませんでした。しかし、そう言われても今の私たちには必要なものです。きっとこれを土台に知識と経験を積み重ねなければならないでしょう。

「グローバル社会を生きぬく力」という、日本が抱える課題のひとつに、自らが身をもって向き合ったことで、改めて意義のある学びをせねばと今、思うのです。



思い出のアクティビティの時間
(本人は右から二番目)

平成29年度 体験入学・入試関連行事等実施予定表

(平成30年度生徒募集)



学校法人 明照学園
樹徳高等学校

実施予定月日（曜日）	時 間	名 称	対 象 者
平成29年 9月16日（土）	9時00分 ～ 12時15分	第2回中学生一日体験入学	中学3年生・保護者
平成29年 10月 7日（土）	8時45分 ～ 15時20分	中学生入試体験 「樹徳プレテスト」A日程	中学3年生
平成29年 10月 8日（日）	8時45分 ～ 15時20分	中学生入試体験 「樹徳プレテスト」B日程	中学3年生
平成29年 10月17日（火）	9時00分 ～ 14時40分	中学生保護者対象 学校見学会・進路相談①	中学生保護者
平成29年 10月18日（水）	9時00分 ～ 14時40分	中学生保護者対象 学校見学会・進路相談②	中学生保護者
平成29年 10月19日（木）	9時00分 ～ 14時40分	中学生保護者対象 学校見学会・進路相談③	中学生保護者
平成29年 11月11日（土）	10時00分 ～ 11時00分	スーパーサイエンスコース S S組入試説明会	中学3年生・保護者
平成29年 12月18日（月）	9時00分 ～ 16時00分	平成30年度 推薦入学試験・学業奨学生入学試験 出願受付日①	
平成29年 12月19日（火）	9時00分 ～ 16時00分	平成30年度 推薦入学試験・学業奨学生入学試験 出願受付日②	
平成30年 1月 7日（日）	8時45分 ～ 15時20分	平成30年度 推薦入学試験・学業奨学生入学試験 試験日	
平成30年 1月16日（火）	各校宛に郵送	平成30年度 推薦入学試験・学業奨学生入学試験 合格発表日	
平成30年 1月19日（金）	9時00分 ～ 16時00分	平成30年度 一般入学試験・ステップアップ® 入学試験 出願受付日	
平成30年 1月20日（土）	9時00分 ～ 12時00分頃	平成30年度 第1回入学手続日	・推薦入試（単願）合格者 ・学業奨学生入試（併願） 合格者中、単願切替手続者
平成30年 1月27日（土）	8時45分 ～ 15時20分	平成30年度 一般入学試験・ステップアップ® 入学試験 試験日	
平成30年 2月 6日（火）	各校宛に郵送	平成30年度 一般入学試験・ステップアップ® 入学試験 合格発表日	
平成30年 2月17日（土）	9時00分 ～ 12時00分頃	平成30年度 第2回入学手続日	・一般入試（単願）合格者 ・一般・ステップアップ® 入試（併願） 合格者中、単願切替手続者
平成30年 3月17日（土）	13時00分 ～ 16時00分	平成30年度 第3回入学手続日	・学業奨学生入試（併願）合格者 ・一般・ステップアップ® 入試（併願） 合格者

一貫校

中学校

だより

◆校内英語スピーチコンテスト

◆ITトラフル防止教室

◆夏季総合体育大会結果報告

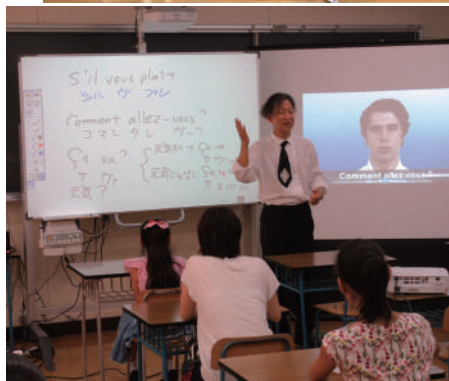
球技大会

七月十一日、樹徳高校体育館にて樹徳中学校の球技大会が行われました。種目はバスケットボールとドッジボールでした。生徒たちは一所懸命にプレーし、気持ちの良い汗を流していました。選手たちの声と応援する生徒の歓声が混じり合って、大盛り上がり。球技大会になりました。



◆小学生対象イブニングスクール

七月十二日から十四日にわたり、イブニングスクールが開催されました。イブニングスクールとは平日の放課後を利用して、多くの小学生に樹徳中学校を体験してもらおうという企画です。初日は生徒による討論会、二日目はフランス語講座、三日目は理科実験授業を行いました。来校した小学生たちは真剣そのもので授業に参加していました。また授業後楽しそうに校舎見学に参加していました。



七月十九日、樹徳中学校講堂で英語のスピーチコンテストが行われました。各クラスの代表者二十七名が日頃の練習の成果を披露しました。

スピーチの部では三年生の粗山沙輝さん、海外在住経験者の部は関田真愛さんが最優秀賞に選ばれました。二人は樹徳生の代表として九月七日に行われる桐生市の大会に参加する予定です。



樹徳中高一貫教育

第2回学校説明会

9/30(土)

10:00 ~ 12:00

- ・30年度入試概要
- ・学校生活・カリキュラム
- ・入試情報 他

第2回樹徳中モギ試験

10/14(土)

[I型]

国語 9:15 ~ 10:00

算数 10:15 ~ 11:00

[II型]

適性検査型 9:15 ~ 10:00

作文 10:15 ~ 11:00

※[I型][II型]選択

受験料 無料

お問い合わせ

TEL 0277-45-2257

七月三日、ぐんま子どもセーフネット活動委員会インストラクターの丸山道慶氏をお招きし「ケータイ・スマホ・ネットの現状」という題で講演をしていただきました。子どもたちの現状に合わせ、最近のITトラブルの具体例を挙げて分かりやすく説明してくださいました。生徒たちは自分自身のこととして真剣に話を聞くことができました。これを機会にケータイ・スマホ・ネットなどIT機器の使い方を見直してほしいと思います。

市総体が七月中旬から始まり、各部の選手たちが活躍しました。先月全国大会出場を決めた陸上部深澤君に続き、特に卓球部や水泳部の活躍が目立ちました。

◎卓球部
〈市大会〉
松本慶次郎
(三年男子シングルス)五位

久保田りか(二年女子シングルス)三位
長尾結希(二年女子シングルス)三位

◎水泳部

〈市大会〉

川中子琢巳(二〇〇mバタフライ)一位

川中子琢巳(一〇〇mバタフライ)一位

〈県大会〉

川中子琢巳(二〇〇mバタフライ)三位

川中子琢巳(一〇〇mバタフライ)四位

「夏らしくない夏」

二階屋上にあるプールは、七月に配管の交換工事等リニューアルを終えて、今年の夏は楽しみにしていましたが、なかなか入れず、とても残念でした。プール納め（八日）までの天候に期待しているところです。

二期は、運動会・親子遠足・なかよし発表会と、楽しいイベントが盛りだくさんです。さらに、九月から新制度（認定こども園）への移行準備が具体的にスタートし、園にとっては大

「地域を知るお祭り」

「ゴーランド」に決まり、一ヶ月前から年長さん保護者による、みこし作りがスタートしました。全園児数の回転木馬に園児の人形が乗り、可愛くて素晴らしいみこしが完成しました。当日のパレードでは多くの方からお褒めの言葉をいただきました。今までは鈴を持って応援だった年少・年少々さんも、今年はみこしを担いで練り歩き可愛らし

天候（曇り空）にも恵まれ、楽しいお祭りを堪能できた「みこしパレード」でした。子どもたちにとつて、地域行事に参加していても心に残る楽しい思い出ができたことと思います。

準備（みこし作り）そして当日と、ご協力いただきました保護者の皆様に、心より感謝とお礼申し上げます。

「幼稚園＋保育所機能（認定こども園）とは？」

樹徳幼稚園は、昭和二十八年に認可を受けて以来、今日まで六十五年間幼稚園として、その歴史と伝統を積み上げてきましたが、平



桐生祭り
『子どもみこしパレード』

成三十年度より、認定こども園（幼稚園型〈学校〉）に、移行予定で準備を進めております。今までなかった二歳児保育（保育所的機能・直列型）が新しく加わりますが、満3歳から五歳までは、今まで通りの幼稚園として、文科省の教育要領による教育を行います。樹徳の幼児教育を一層大切に、少子化等、急激な社会の変化に対応し、預かり保育の一層の充実など、保護者の期待に応えられるよう、教育（保育）の充実に努めてまいります。

「説明会のお知らせ」

在園保護者の皆様に、新制度（認定こども園）について、ご理解をいただくために、第一回「認定こども

○九月一日より入園願書を

受け付けております。
お早めの提出を！

○募集人員

- ・二歳児 一〇名
- ・満三歳 一〇名
- ・三歳児 三〇名
- ・四・五歳児 各一〇名

○入園願書は樹徳中・高校にもあります

○申し込み、問い合わせは
樹徳幼稚園まで

（土、日の申し込みはご連絡ください。）

http://www.jutoku.ed.jp/kinder

「園説明会」を開催いたします。

- ・ 期日 九月十五日（金）
・ 時間 十三時～
・ 場所 幼稚園遊戲室
・ 対象 年少・年中・年少
・ 年中保護者

・内容 保育料や一号・二号・三号認定（区分）申請等について、桐生市子育て支援課担当者より説明していただきます。

お忙しいことと思います
が、ご出席よろしく願
います。

園長 瀬谷 茂

9月(正精進)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	金	就職推薦開始 後期教育実習開始		新入園児願書受付開始
2	土		地区別説明会 (～3日)	
3	日			
4	月	L H R 夏休み課題確認テスト (総合コース)	課題確認テスト	プール写真撮影 実習生受入 (～22日) リズム (全) 線 (年)
5	火	授業料納入日		『避難訓練』(地震) 保育料納入日 実習生受入 (～16日) 群私幼東部地区研究委員会
6	水			英語 (全) 文字・数 (年長)
7	木	県高 P 連本部役員会		体育 (全) 文字・数 (年中)
8	金			プール納め 8・9月生まれ「お誕生会」
9	土	3年学研 V S P 模試③	模擬授業	
10	日			
11	月	L H R 校内基礎学力テスト② (総合コース) 普通授業 (進学コース)		リズム (全) 線 (年少)
12	火	生徒募集要項説明会(中学校教員対象)		読み聞かせ (西山先生) 群私幼研究委員会
13	水	生徒募集要項説明会(学習塾対象) マイトリー基金抛金日		英語 (全) 文字・数 (年長)
14	木	募集要項説明 (本校教員対象)	授業参観日	体育 (全) 文字・数 (年中)
15	金	交通安全マナーアップ運動②	マナーアップ運動	新制度 (認定こども園) 移行説明会
16	土	中学生 1 日体験入学② 職員出勤日 就職選考 (入社試験) 開始		
17	日			
18	月	敬老の日		
19	火			実習生受入 (～10/2)
20	水			お茶のお稽古③ 英語 (全) 文字・数 (年長)
21	木			体育 (全) 文字・数 (年中)
22	金			
23	土	秋分の日		
24	日	全商情報処理検定①		
25	月	朝礼	中 3 異文化説明会イングリッシュテスト 早朝自主学習 (～10/4)	リズム (全) 線 (年少)
26	火			園外保育
27	水			英語 (全) 文字・数 (年長)
28	木			体育 (全) 文字・数 (年中)
29	金	出欠統計 女子制服アフターサービス		
30	土		学校説明会	

※ 1 日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目 1 番 20 号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町 4 - 12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目 4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく